

# 平成 30 年度 鑑石園ショートステイ

## 事業報告書

### 1. 事業運営の概況

特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターと連携して、業務内容を見直し、レクリエーションとリハビリテーションの充実に努め、利用者様に楽しく過ごしていただけるよう工夫した。

稼働率確保を目標に毎月事業所回りをを行うと共に、各種研修に参加し他事業所のケアマネジャーとのコミュニケーションを図った。

前年度に引き続き、施設入所される利用者様が増加したことから計画を下回り、利用者述べ人数 1,862 名、稼働率は 63.8%となり、前年度比 4.3%のプラスとなった。

衛生管理対策として、利用者様・職員共に手洗い、うがいを励行し感染症予防に努めた。

### 2. 事業計画実施状況

#### (1) サービスの充実

- ① 新規利用者様受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、ショートステイの全職員に対しご本人の状況を周知し、提供するサービスについて事前に検討を行った。
- ② 利用者様、ご家族、担当ケアマネジャーと話し合い、個々の利用者様について作成したケアプランに基づき、ご家族と利用者様ご本人が満足できるサービスを提供できるよう努めた。
- ③ ショートステイ利用中に起きた事故については、ただちにご家族に連絡し、事故の詳細と怪我の有無、受診の可否等についてわかりやすく説明すると共に謝罪し、誠意のある対応を心掛けた。
- ④ ご家族の都合により定時の送迎時間で行けない時は、職員配置を工夫し希望の時間に送迎が行えるよう努めた。
- ⑤ ご家族とのコミュニケーションを充実させ信頼関係を築く為、送迎時にご家族との会話を心掛けた。入所時には、利用者様の心身の状態等を伺い、退所時には、利用中の様子を報告した。またご家族の負担を考慮し、退所時には衣類を洗濯して、きれいな状態で返却するよう努めた。
- ⑥ 職員教育の一環として、特別養護老人ホームが行う内部研修に積極的に参加し、職員資質の向上を図った。
- ⑦ 利用者様の身体状況に合わせてベッドの配置を決める等、安全対策に努めた。また、施設職員、看護職員と連携し、見守りの強化を図った。

夜間帯にはフットコールを設置し、転倒防止に努めた。

(2)稼働率の確保および維持

- ① 稼働率を向上させる為、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行った。
- ② 空床時には緊急利用にも対応できるよう、ご家族とのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心掛けた。

(3)機能訓練、レクリエーションの充実

- ① 利用者様のご希望が多い、調理レクリエーションを行うことが出来た。
- ② 手作業を中心としたリハビリテーションを行い、作品を展示する等、達成感を味わうことができるよう工夫した。実施したリハビリテーションについては、機能訓練記録・作業記録簿に詳細を記入した。

- ・ 平成 30 年度に参加した行事については次の通り

4月	花見会
5月	調理レク(たこ焼き作り)
7月	納涼祭・流しそうめん
8月	すいか割り・かき氷
9月	敬老会・調理レク(焼きそば)
10月	福祉展
11月	調理レク(カステラ作り)
12月	クリスマス会
1月	外出(富士川楽座)・初詣(妙善寺)
2月	調理レク(クレープ作り)
3月	調理レク(お好み焼き)

(4)衛生管理

- ① 感染症を予防するため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行った。また、毎週1回食器類の消毒を実施した。
- ② 感冒症状のある利用者様に対しては、居室の配置等の調整をする事で感染防止に努めた。
- ③ 疥癬に感染された利用者様に対して適切な対応を行い、感染拡大を防ぐことが出来た。